

睦美・麻生田・三上 3校の歴史

睦美小学校

睦美小学校が設立されたのは敗戦後の昭和22年4月のことである。それ以前の睦美教育は学制発布以前と以後に大別される。学制発布以前は寺子屋教育が一般通念であるが、睦美教育は特色があり、寺子屋と家塾との両方であった。学制発布以後は明治6年4月、一宮義校当古分校が開設され、寺子屋・家塾の筆子が分校児童となった。以後、第2大学区第10中学区第35番小学当古学校(明治6.9)、睦美尋常高等小学校(明治36.4)、豊川尋常高等小学校第1分教場(大正11.4)、豊川国民学校第1分教場(昭和16.4)、睦美国民学校(昭和20.4)などの変遷を経て、睦美小学校が誕生した。以後地元民の温かい支援と協力を得ながら、多大な功績を残してきたのである。



▲睦美小学校

麻生田小学校

麻生田小学校の前身は麻生田学校で明治8年7月に設立された。このころは義務教育4年制の時代で児童数も少なく、1・2年、3・4年の複式学級で校長1名、教員1名の時代が長く続いた。また、高等小学校は当時豊川になく、牛久保にあった東部第1高等小学校へ入学する者が多かった。

明治43年4月に麻生田尋常小学校となり、翌年4月に新校舎が完成し、校区の中心となる寺前に移転した。この時代は庭球が強く、県下及び東海大会で輝く優勝を数多くしている。

大正11年4月、豊川尋常高等小学校第2分教場、昭和20年4月、麻生田国民学校となる。



▲麻生田小学校

三上小学校

三上小学校の前身は明治6年10月に三渡野、埴之上の組合立の学校として誕生した三波野学校である。以後、三上学校(明治11.5)、尋常小学校三上学校(明治20.4)、三上尋常高等小学校(明治25.4)、三上国民学校(昭和16.4)を経て、昭和22年4月八名郡三上村立三上小学校になった。



▲三上小学校

— 三上尋常高等小学校(明治40年)の記録より —

教室数4・教員数5名・児童数(尋常科124名、高等科59名)・就学率(男子99%・女子100%)・教科(尋常科…修身、国語、算数、体操)産業は農業「普通農業を以テ本業トシ養蚕ヲ副業トス、養蚕ノ盛ナルコト郡内屈指」と記されている。